

第一週

-前期の学びを「過去」のものとしなない-

2019年9月27日

東京女子大学

まつお しん

お知らせ

- 後期の事前課題用の本
- 『日本語教師の役割・コースデザイン』(国際交流基金日本語教授法シリーズ 第1巻)



お知らせ

- 4年次の日本語教育実習の報告会
 - 10月12日土曜日13時から16時
 - 場所:24301教室
 - 詳細は、掲示板で。
-
- 参加した振り返りを書くことで、「学びのノート」活動になります。

お知らせ

- 今学期も前期同様に以下、課題となります。
- 学びのノート
- 学期中に現場訪問を必ずすること

お知らせ

- 前期の授業評価アンケートの自由記述
- 「メールが多い」との記述あり
- 対応策

- では、はじめましょう。。。。

まず、いきなりですが

前期の第一週に観た映像に関し

- どんな内容だったでしょうか。そして、そのビデオを観てあなたはどのように感じたのでしょうか。少し思い出してみましよう。

- では、その映像を再度、観てもらいます。
- 前期の第一週に観た時と比べ、映像の受け止め方にどのような相違点、類似点などがあるのか意識して観てください。
- 観た後でどう感じたか発表してもらいます（ペアワークはしません。いきなり発表です）。

台湾

- 日本統治時代に日本語教育を受けた世代の語り

前期のゲスト

- 西野藍さん(国際基督教大学教員)
 - 海外で日本語を教える
- 山崎哲さん(一橋大学大学院生 中国帰国者3世)
 - 中国帰国者と多文化共生—それぞれの想い
- 国際交流基金の職員さま
 - 日本語教育事業の説明
- 海外で日本語を学んでいる大学生
- JET日本語学校(学習者・教員)

クラスメイトは外国人

- ガイジン

- ハーフ

番組視聴

- NHK ひとモノガタリ「曖昧な境界を生きて～“ハーフ”から見た日本のカタチ～」

番組視聽後

1) 番組を見てどのような気持ちですか？

その気持ちはどの場面からもたらされましたか。
また、その場面に関し、あなたが考えたことや疑問に思ったことは何ですか。

2) 「ハーフ」ということばに、これからあなたはどのように付き合っていきますか。

後期の進め方

- 前期と同様に「学びのノート」を作成すること。毎週、クラスメイトに読んでもらって、感想を伝え合うとともにサインをもらうこと。
- 前期同様に評価の対象になります。

学びのノート

- 毎週の振り返りシートで自分自身の学びを評価します。
- 学びのノートを松尾がチェックする可能性があります。
- 評価基準は前期同様です。

学びのノートの評価(最重要情報)

- 5点・・・2時間以上の教室外学習の成果が記録されている。
- 4点・・・90分程度の教室外学習の成果が記録されている。
- 3点・・・60分程度の教室外学習の成果が記録されている。
- 2点・・・30分程度の教室外学習の成果が記録されている。
- 1点・・・30分以下の教室外学習の成果が記録されている。
- 0点・・・学びのノートに何も記すことがなかった。

以上は、自分以外の学生に内容を確認してもらうことが前提

以下ももちろんOK！

- 今日、見た映像の後半部分を視聴し、その振り返りや調べてみた背景知識などを書く。

お知らせ

- 難民映画祭

難民映画祭2019

入場について

- 参加無料
- 事前申し込みなし
- 各回上映45分前より整理券を会場にて、先着順で配布します（お一人につき1枚の配布、グローバルフェスタ2019の上映は入退場自由）
- 各回20分前の開場となり、整理券番号順にご案内します（自由席）
- 各回完全入替制

課題（授業冒頭のクイズ）

- 3週目の授業から：『日本語教師の役割・コースデザイン』に関する授業内クイズを行います。教科書は購買部で販売されているはずですが。

授業冒頭の発表

- 授業の冒頭に各種活動の発表を奨励します。
 - ユージン学園インターンシップ、語学研修、ボランティア情報、何らかの活動の宣伝など
 - 何分使っていいかは、松尾と相談して下さい。内容の性質によって時間を決めましょう。
 - 発表は必ず予約すること。
 - **発表者は必ず発表練習をして発表時間を守ること。**
 - PPTを使用する場合は、必ず授業時間前(4時35分の前)に動作確認ができるように準備すること。

授業内の発表

- 後期は前期に比べ、発表の機会が増えます。
- 積極的に発表してみましよう。見て学ぶこともありますが、やってみないと学べないこともあります。
- 来週から発表OKです。今日の授業後から発表希望の予約を取ります。

学期中の現場訪問

- 学期末に慌てて行うのではなく、計画的に訪問しましょう。
- 高田馬場のビルマ難民との活動
- 群馬県太田市のブラジル人の子どものためのポルトガル語教室
- 日本語学校のビジターセッションなど

学期中の現場訪問

- 自分自身で現場を開拓することも大いに奨励します。

高田馬場の活動に関し

- 高田馬場の活動は、1回の受入れ人数を原則2名までとします。また、活動に参加した後、必ず振り返りを学びのノートに書くことを前提条件とします。また、任意ですが活動後の振り返りにも参加したほうが良いと思います。
- 学習者などの都合により予約しても、その日の活動がなくなる場合があります。

今週の課題

- 課題1か2か3か4を視聴し、学びのノートに感想や追加で調べたことを書いてくること。すでにどれかを見たことがある学生は見ていないものを見てください。
- いずれの課題も深いところで日本語教育とつながっているからです。

課題1

- 本日、見てもらおうかと思っていた「バックドロップクルディスタン」(日本在住クルド難民に関する映画)
- 松尾の私物、東女図書館、言語科学専攻オフィス(23号館5階)

課題2

- NNNドキュメント「ニッポンで働く 外国人労働者“共生”の覚悟は...」
 - http://jp.channel.pandora.tv/channel/video.ptv?c1=&ch_userid=chobi1162&prgid=58738637
 - http://jp.channel.pandora.tv/channel/video.ptv?c1=&ch_userid=kmgmt&prgid=58958276
- ノーナレ「画面の向こうからー」
 - <https://www.youtube.com/watch?v=nb9VEYJw5zE>
- いつまで見られるかはわかりません。ご注意ください。

課題3

- ETV特集 2016年09月03日「関東大震災と朝鮮人 悲劇はなぜ起きたのか」
- https://www.youtube.com/watch?v=WOScKgu_P8o
- いつまでyoutubeで見られるかはわかりません。ご注意ください。

課題4

- NHKスペシャル 2016年1月9日 「NHKスペシャル シリーズ 激動の世界 テロと難民～EU共同体の分断～」

https://www.youtube.com/watch?v=x_8ab6wmoLs

- いつまでyoutubeで見られるかはわかりません。ご注意ください。

- それでは、今学期もよろしく！